



セブン-イレブン
環境・社会貢献
の取り組み
2012-2013



セブン-イレブンは お客さまの想いに応え続けます

お客さまの望んでいることに
たちどころに応えられるよう、
セブン-イレブンは
環境と社会への
さまざまな取り組みを
誠実に続けています。

株式会社セブン-イレブン・ジャパン

代表取締役会長 最高経営責任者 (CEO)
鈴木 敏文

代表取締役社長 最高執行責任者 (COO)
井阪 隆一

チェーン全店売上高
3兆2,805億円(2012年2月期)

従業員数
5,686人(2012年2月末現在)

店舗数
14,783店(2012年11月末現在)



「新しい今日」をつくるセブン&アイHLDGS.

グループ総売上高
約**9兆円***

総来客数(世界)
4,800万人／日

店舗数(16ヶ国・地域)
48,500店

※セブン-イレブン・ジャパンの加盟店の売上、7-Eleven, Inc.のエリアフランチャイジーの売上を含む(2012年5月末現在)

セブン-イレブンはセブン&アイグループの一員です



環境のために



太陽光発電パネル



社会とともに



セブンらくらくお届け便

環境のために

セブン-イレブンは、「近くて便利」なお店を増やすことと、環境への負荷を減らすことの両立をめざしています。販売での省資源の工夫、お店や配送での省エネなど、お客さまと商品をつなぐ、すべてのプロセスをエコにしていきます。

販売

- レジ袋削減
- 容器包装削減
- 食品リサイクルの推進



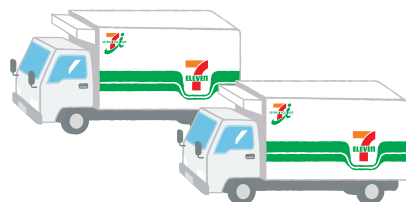
お店

- 自然エネルギーの活用
- 店舗照明のLED化



配送

- ドミナント方式による配送効率化
- ハイブリッドトラックの導入

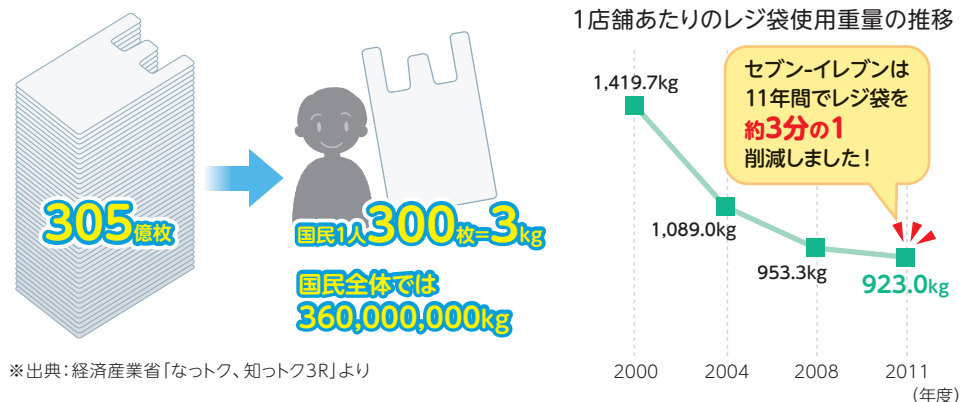


販売 限りある資源を大切に

お客さまに商品をお渡しするためのレジ袋などを減らすことで、資源を節約するとともに、食品リサイクルを推進しています。

お客さまとともにレジ袋を削減

セブン-イレブンを含む日本全国の小売店で、1年間に305億枚のレジ袋が使われています。これは国民1人あたり、1年間に約300枚のレジ袋を使っている計算になり、その多くがごみとして捨てられています。セブン-イレブンでは、省資源と廃棄物削減を目的に1999年からレジ袋の厚さを薄くするとともに、強度の見直しを行うことで、使用重量を削減しています。



※出典：経済産業省「なつコフ、知コフ3R」より

また、セブン-イレブンのお店では、レジ袋の使用枚数を削減するため、レジ対応時のお客さまへの声かけや、商品の大きさに応じた適正サイズのレジ袋使用に努めています。あわせて、レジ袋削減ポスターをお店で掲示し、お客さまとともに取り組みを進めています。さらに自治体と協力し、レジ袋削減の啓発にも取り組んでいます。



レジでお客さまに声かけ



東京都の62市区町村と協力し、レジ横にレジ袋削減啓発スタンドを設置



ポスターで、レジ袋削減を呼びかけ

お弁当の包装を簡素化して資源を削減

セブン-イレブンでは、包装材削減による環境負荷の低減や、見た目・選びやすさの向上を目的にお弁当の包装形態を「ラップ包装」から「テープ止め」に変更しています。

この簡易包装の取り組みによって、2011年度はプラスチック原料を年間約630トン削減しました。



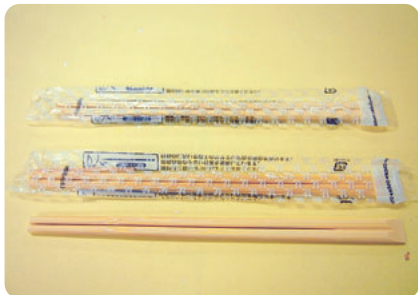
〈変更前〉ラップ(フルシュリンクラップ)包装



〈変更後〉4ヶ所のテープ止め

割り箸を環境に配慮した素材「竹」に変更

セブン-イレブンでは、お弁当などにつける割り箸の素材を、2006年より白樺から竹に変更しています。竹は他の木材と比べて成長が早く、3~4年で成木となります。また、伐採された後も地下茎から新たな竹が生えるため、持続的生産が可能な環境にやさしい素材として有効活用しています。



割り箸の素材を白樺から竹に



3~4年で成木になる竹



成長に時間がかかる白樺

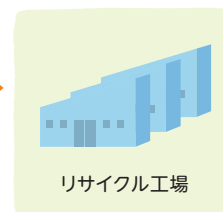
食品リサイクルを拡大

セブン-イレブンでは、発生した販売期限切れ商品を堆肥や飼料などにリサイクルできるよう、食品リサイクル実施の拡大に取り組んでいます。

2011年度のリサイクル率は34.1%となりました。2012年度は岡山県や佐賀県でも食品リサイクルを開始し、全国で20都府県(2012年9月末現在)での実施になりました。今後も準備が整った地域より、順次食品リサイクルの取り組みを拡大していきます。



販売期限切れ商品

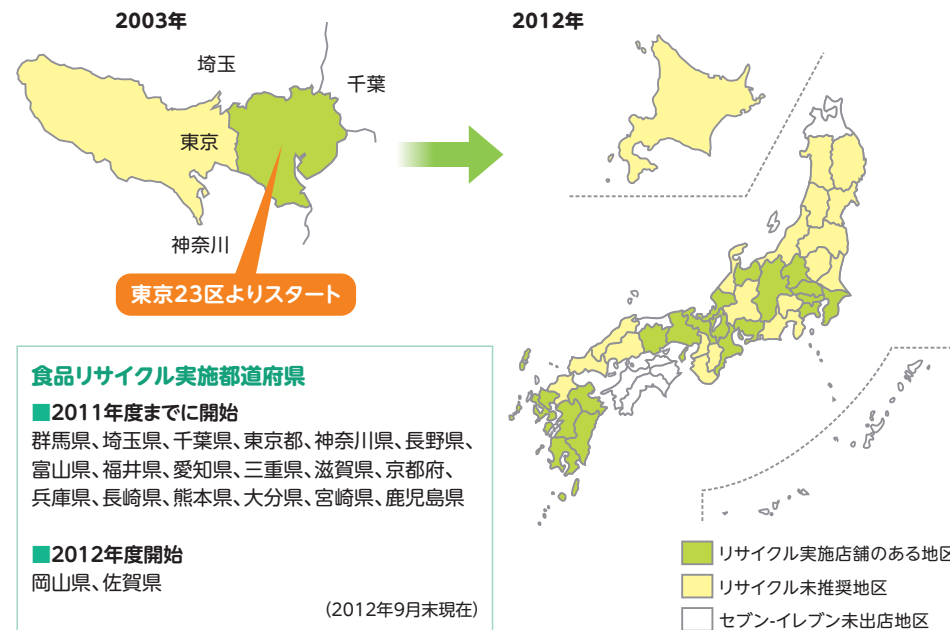


リサイクル工場



堆肥や飼料

都道府県別食品リサイクル実施状況



お店 お店づくり・運営を省エネで

セブン-イレブンは、さまざまな省エネ設備を積極的に導入し、店舗運営での環境負荷を減らしています。

自然のエネルギーを活用したお店づくり

太陽光発電パネルの設置や、太陽光を店内に取り入れるトップライト(天窗)の設置などにより、自然エネルギーの利用を進めています。

また、2012年より地中熱を利用した店内の空調システムを導入しています。年間を通じてほぼ一定の温度が保たれる地中を利用し、外気が地中に設置した専用パイプを通ることで、夏は涼しく冬は暖かい風を店内に送ることができる最新技術です。

このように、できる限り冷暖房機器に頼らず自然エネルギーを有効利用することで、使用電力の削減に努めています。

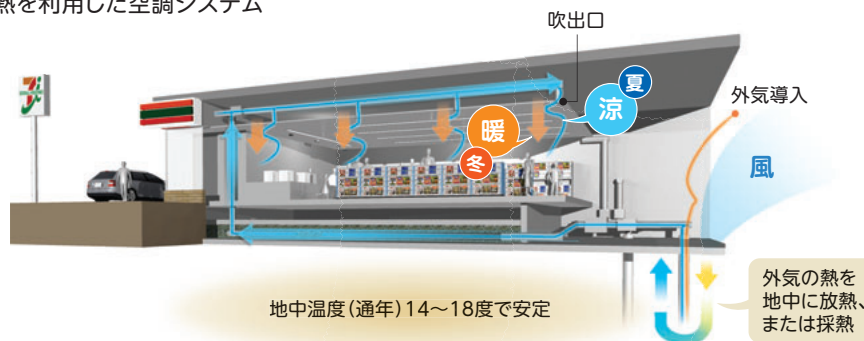
太陽光発電
発電した電気を
店内照明で使用



トップライト(天窗)
店内に太陽光を取り入れ、
照明の電力量削減

太陽光発電パネル設置店舗数
4,399店 (2012年11月末現在)

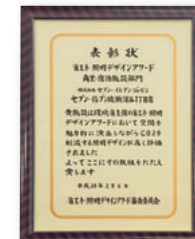
地中熱を利用した空調システム



あらゆる照明のLED化で省エネを推進

セブン-イレブンでは、店舗照明のLED化に取り組んでいます。交換前に85灯の蛍光灯が設置されていたお店では、LED照明への交換により、11,508kWh/年・店の削減効果をあげています。また、店頭看板や店外のサインポールもLED化を進めています。

こうした太陽光発電パネルやLED照明などが導入された最新鋭の環境配慮型店舗が評価され、環境省の「平成23年度省エネ・照明デザインアワード」に採択されました。



平成23年度デザインアワード表彰状



店内照明
LED化

トップライト
(天窗)

LED照明の導入

店頭看板



10,587店

サインポール



9,873店

店内照明



10,833店
(2012年11月末現在)

使っている電気の見える化でさらなる節電

セブン-イレブンでは、電気が「いつ、どこで、どう使われたか」を「見える化」する機器「スマートセンサー」を導入しています。分電盤にセンサーを取りつけることで、店内設備における電気使用状況が確認でき、お店での節電対策に活かされています。



効率的に運んで、CO₂を削減

商品を効率的にお届けするしくみをつくることで、
配送で発生するCO₂を減らしています。

配送の効率化と環境配慮型車両導入でCO₂を削減

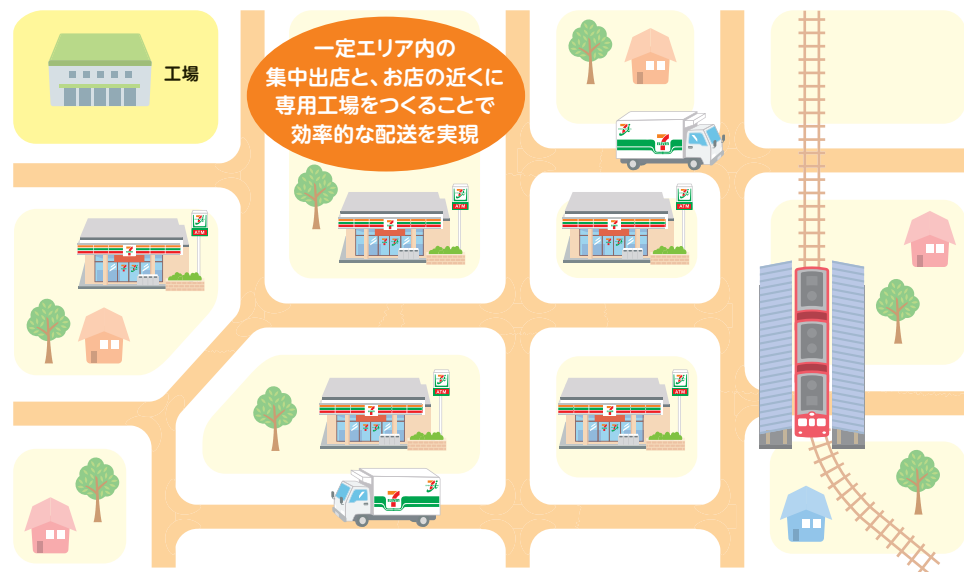
セブン-イレブンは、一定エリア内に短期間に集中出店する「ドミナント方式」を採用しています。このドミナント方式により、工場から効率よく商品を届けることが可能となり、長距離配送が減少することでCO₂排出量が削減するなど多くの効果を生んでいます。

また、地域によっては同時に2つの温度帯を管理できる配送車両などもあり、車両台数の削減につながっています。セブン-イレブンの配送車には環境配慮型車両と認定されているハイブリッドトラックが150台(2012年5月末現在)導入されており、2020年までに全体の20%を環境配慮型車両に切り替えていく予定です。



ハイブリッドトラック

ドミナント方式による出店と配送の効率化

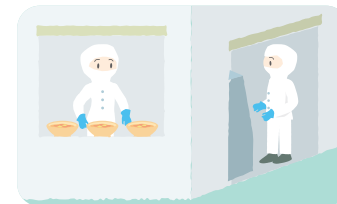
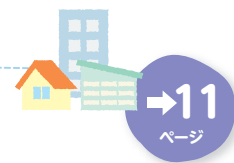


社 会 とともに

セブン-イレブンは、
さまざまなお客さまのニーズに応えられる
さらなる「近くて便利」をめざしています。
安全・安心な商品をお届けすることはもちろん、
お買い物の利便性をはかり、地域と共生することで
社会に貢献していきます。

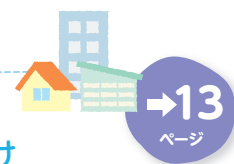
安全・安心

- 保存料・合成着色料
不使用
- 専用工場での品質管理



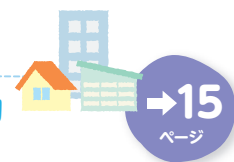
広がる便利

- 移動販売
- 商品をご自宅へお届け
- マルチコピー機



地域との共生

- セーフティステーション活動
- 学校教育への協力
- 環境保全活動



セブン-イレブンは、成分や原材料にこだわり、安心して召し上がれる商品を専用工場で製造しています。

業界初の「保存料・合成着色料不使用」を実現

2001年コンビニエンスストア・チェーンでは初めて、お弁当、おにぎり、お惣菜、麺類などのオリジナル商品において「保存料・合成着色料」を使用しない商品の販売を開始しました。お客さまに安心して召し上がっていただけるよう、全国の専用工場での厳格な管理を行い、物流および店舗においても、商品の温度帯別管理を実施しています。



「保存料・合成着色料不使用」のおにぎり

セブン-イレブン専用工場で安全・安心を追求

セブン-イレブンで販売するお弁当、おにぎり、お惣菜、麺類などのオリジナル商品は、セブン-イレブンの専用工場で製造しています。専用工場だからできる、他に真似のできない専用調理器具を活かした製造で、安全・安心を追求しています。

使用する原材料は、商品特性や季節などに応じて、品質のよいものを厳選し、生産地・加工方法・配送方法・管理状況などの履歴が明確なものを使用しています。また、品質にばらつきが少ない原材料を使用し、徹底した温度管理と衛生管理により品質低下を最小限にとどめる努力をしています。さらに、新規商品販売前には各専用工場の味のすりあわせ確認を行い、規格通りの商品になっているかを確認しています。また、定期的に微生物検査を行い、安全性の確認をしています。



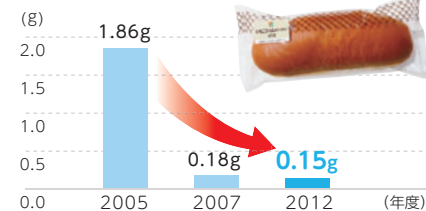
セブン-イレブン専用工場での検査風景

トランス脂肪酸を低減した「おいしさ与健康」のオリジナルパン

マーガリンなどに含まれるトランス脂肪酸は、摂り過ぎると血液中の悪玉コレステロールが増加し、虚血性心疾患などのリスクを高めるとわれています。セブン-イレブンでは「おいしさ与健康」を追求し、トランス脂肪酸を低減したオリジナルパンを開発しています。「いちごジャム&マーガリン」は、2005年にはトランス脂肪酸が100gあたり平均1.86gでしたが、2012年には平均0.15gまで低減しました。さらにドーナツやカレーパンを揚げる際に使う調理油も、トランス脂肪酸の少ないものを使用しています。

なお、セブン-イレブン・ジャパンのホームページ上では、2011年2月に消費庁より示された「トランス脂肪酸の情報開示に関する指針」に基づき、代表的な商品について情報開示を行っています。

「いちごジャム&マーガリン」100gあたりのトランス脂肪酸使用量の低減推移



こだわりのPB商品「セブンプレミアム」

セブン&アイグループのプライベートブランドとして、7つのこだわりを形にした商品が「セブンプレミアム」です。原料調達から商品開発、品質管理まで一貫した体制で、安全・安心な商品をお届けしています。



セブンプレミアムの代表商品

SEVEN PREMIUM セブンプレミアムの7つのこだわり

- 1 安全・安心**
厳選された原材料を衛生的な工場調理。
- 2 おいしい**
みんなが「おいしい」と認めた味だけ。
- 3 地域の味**
地元の味が、やっぱり一番。
- 4 最高の技術**
優れた技術を持つメーカーと共同開発。
- 5 ユニバーサルデザイン**
読みやすく、わかりやすい表示、デザイン。
- 6 健康応援**
商品の前面にカロリー表示。
- 7 リーズナブル・プライス**
毎日お求めやすいお値段で。

“遠い”“忙しい”“荷物が多い”など、お買い物にご不便を感じているお客さまへのサービスを拡大することで、地域の皆さまのお役に立てるお店づくりを進めています。

移動販売でさらに近くへ「セブンあんしんお届け便」

現在の日本社会は、小売店舗をはじめさまざまな生活拠点が減少し、日常のお買い物や食事に不便を感じている方が、高齢者を中心に全国で増えています。「近くて便利」なセブン-イレブンでは、お客さまのお買い物や食生活をサポートするため、2011年5月より移動販売専用車による「セブンあんしんお届け便」を開始しました。



「セブンあんしんお届け便」による移動販売



お店まで行けない高齢者も安心

健康に配慮したお食事・食材をお届け「セブンミール」

お買い物に不便を感じている方や、健康に気をつけている方に向けて、素材と品質に配慮したお食事や食材をお届けするサービスを行っています。注文した商品は、ご自宅へお届け、または店頭でのお受け取りをお選びいただけます。2012年5月からは500円以上ご注文の場合はお届け料が無料になり、よりご利用いただきやすくなりました。



健康に配慮したお食事や食材をご自宅までお届けしています



商品お届けサービス「セブンらくらくお届け便」

2012年7月より、店内のほぼすべての商品をお客さまにお届けする「セブンらくらくお届け便」を始めました。このサービスは、お客さまに事前にご注文いただいた商品、またはお客さまがお店でご購入された商品などを、環境にも配慮した超小型電気自動車「コムス」を使用して、ご自宅などにお届けするサービスです。「近くて便利」なお店として、商品をお客さまに代わってお届けします。



「コムス」にセブン-イレブンロゴをあしらった「セブンらくらくお届け便」



お届け専用の保冷BOXを搭載



2012年7月30日の出発式 (セブン-イレブン千代田二番町店)

マルチコピー機で公共証明書やチケットを取得

お店のコピー機では、コピーやデジカメプリントの出力などといったプリント機能のほかに、さまざまなサービスの購入・申し込みができます。例えば行政サービスの機能では、「住民票の写し」「印鑑登録証明書」などが取得できます(参画市町村のみ)。また、自転車向け保険やバイク自賠責保険の申し込みも可能です。そのほか、エンタメチケットや高速バスチケットの購入、航空券代金支払いやスポーツ振興くじ、プリペイドサービスの購入などにも利用できます。

セブン-イレブンのとっても便利なマルチコピー機



- **行政サービス(一部の自治体)**
「住民票の写し」「印鑑登録証明書」「戸籍証明書」「税の証明書」などの取得ができます。
- **自転車向け保険**
必要情報を入力することで加入手続きができます。
- **エンタメチケット**
スポーツ観戦や演劇、コンサートなど、「セブンチケット」と「ぴあ」が取り扱うすべてのチケットが購入できます。
- **高速バスチケット**
予約済みの発券だけでなく、マルチコピー機から直接購入できます。
- **スポーツ振興くじ**
「toto」「BIG」が購入できます。

お店が「地域の拠点」として愛され、ご利用いただけるよう、安全・安心なまちづくりに協力し、さまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。

まちをいつでも見守る「セーフティステーション」

セブン-イレブンでは、深夜でも明かりが灯り、店内には従業員がいます。そんな特性を活かして、お店を「まちの安全・安心の拠点」にしていく取り組みが「セーフティステーション活動」です。この活動は、2000年に一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会（JFA）が、警察庁の「地域社会の安全・安心を守るために協力をしてほしい」という要請を受けて始めました。



深夜の防犯対策も、警察官とともに取り組んでいます

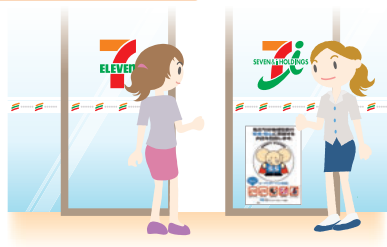
防犯対策

セブン-イレブンでは、地域の警察署と連携しながら、警察官の指導のもとに防犯訓練や110番通報訓練、防犯カラーボール投てき訓練を実施しています。

まちの安全・安心の拠点

セブン-イレブンのお店では、女性の駆け込みへの対応や迷子・高齢者の保護も行っています。特に女性の駆け込みは、全国で1年間に3,600件以上の事例があり、特に深夜時間帯の割合が高いことから「まちの明かり」として、地域に貢献しています。また、小さなお子さまの迷子や、高齢者の方が困っているときにも声をかけ「安全・安心なまちづくり」につながる役割を担っています。

女性の駆け込み保護



迷子・高齢者の保護



次世代を担う子どもたちのために、学校教育に協力

職場体験

セブン-イレブンのお店では、小・中学校の職場体験の受け入れや出前授業など、各地域で教育現場への協力を行っています。

職場体験では、コンビニエンスストアの仕事の体験を通して、あいさつの大切さやルールを守ることの重要性などを学んでもらっています。2011年には、のべ6,000店以上が職場体験の受け入れを行い、「青少年の健全育成」につなげています。

小・中学校へのお出前授業では、児童や生徒たちにセブン-イレブンの環境の取り組みなどを紹介しています。子どもたちはメモを取り、熱心に耳を傾けています。



商品について説明を受ける小学生



コンビニエンスストアのしくみを理解します

品川スチューデントシティ

セブン-イレブンでは、2003年より、東京都品川区と公益社団法人ジュニア・アチーブメントが協業で行っている「品川スチューデントシティ」に出店しています。ここでは小学校の中に仮想の街をつくり、街には区役所や銀行、薬局などさまざまな会社が出店しています。

対象となる品川区の小学5年生は、8時間の事前学習を行った後に、実際に仕事を体験し働くことの大切さや経済活動の流れを学びます。これまでに約18,000人の小学生が接客や仕入れのしくみなどを体験しました。



「品川スチューデントシティ」での職業体験



実際に店頭で立ちお客様対応を体験します

お客さま・加盟店・本部社員が一体となった環境保全活動

全国のセブン-イレブンの店頭でお客さまからお預かりした募金は、セブン-イレブン本部からの寄付金とあわせ、環境をテーマにした地域の市民活動の支援に役立てられています。

地球温暖化防止、森林の保護・保全を目的に、加盟店と本部社員が一体となったセブン-イレブンの森づくりの活動を全国各地域で取り組み始めています。



セブン-イレブン店頭募金箱

セブン&アイ森林プロジェクト

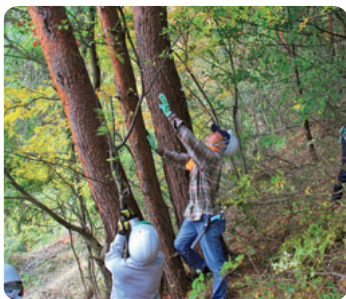
森林を育て、木質材の利用を促進する取り組みを長野県で開始しました。植林活動に限定しないで、「健全な森づくり」に必要な下刈り、間伐などの「森林整備活動」を行っています。6月と10月の活動で加盟店・本部社員合計226名が参加しました。



急勾配の斜面での間伐作業



木に巻きついたつるを取り除きます



宮城 セブン-イレブンの森

「宮城 セブン-イレブンの森」では東北地区の加盟店と本部社員120名に加え、東京から訪れた加盟店と本部社員70名の合計190名が参加。スギ1,500本の植樹、竹の伐採など森林整備に取り組みました。



植樹した木のまわりの下刈りを行います

千葉 セブン-イレブンの森

「千葉 セブン-イレブンの森」では、3月に花粉の発生が少ないスギ3,000本を植樹。10月には植樹した場所の下刈りを行いました。2回の活動で千葉地区の加盟店と本部社員180名が参加しました。



苗木を運んでいきます



間隔をあけて苗木を植えます

三宅島緑化プロジェクト

雄山(おやま)の2000年の大噴火により、三宅島の豊かな自然は失われました。2008年より三宅島の森林再生と島の復興を支援しています。5年目となる2012年は加盟店と本部社員100名が参加し、2ヘクタールに3,000本の植樹を行いました。

一般財団法人セブン-イレブン記念財団 <http://www.7midori.org>

 **セブン-イレブン**

アカチャンホンポ

 **イトーヨーカドー**

Loft



**SEIBU
SOGO**



 **セブン銀行**

 **ヨークベニマル**



グループ会社

(株)イトーヨーカ堂、(株)そごう・西武、
(株)ヨークベニマル、(株)ヨークマート、
(株)セブン&アイ・フードシステムズ、(株)セブン銀行、
(株)セブン・カードサービス、(株)セブンネットショッピング、
(株)オッシュマンズ・ジャパン、(株)ロフト、(株)赤ちゃん本舗、ほか



セブンイレブンウェブサイト
<http://www.sej.co.jp/>

株式会社

セブン-イレブン・ジャパン

(お問い合わせ先)
株式会社セブン&アイ・ホールディングス 総務部環境
〒102-8452 東京都千代田区二番町8番地8
TEL 03-6238-3704
FAX 03-6238-3491



認証番号:CO2-0009
認証取得者:(株)セブン&アイ・ホールディングス
<http://www.jcs.go.jp/>

本冊子の制作によって排出されるCO₂を環境省基準でカーボンオフセット(相殺)し、同省の認証を取得しています。被災地産J-VERの活用により、被災地支援にもつながっています。詳しくは下記をご参照下さい。
http://www.7andi.com/others/2012_ecoprint.pdf



本冊子は、印刷工程で有害廃液を出さない水なし印刷、VOC(揮発性有機化合物)ゼロの植物油インキ、見やすくまがえにくいユニバーサルデザインフォント、FSC認証紙を採用しています。

(お願い) 本冊子をご不要になった際は、再資源化のため、お住まいの地域のルールでリサイクルいただけるようお願いいたします。

2012年12月発行